（別紙２-２　学習指導案例）　　宮崎県立門川高等学校

【教科／科目：福祉科　生活支援技術】教諭　新名　彩美

1. 日　　時　令和　4年　9月13日（火）　5校時

2. 場　　所　門川高等学校　2年1組　教室

3. 対象クラス　福祉科　2年1組（12名　男子1名、女子11名）

4. 本時の目標

利用者の状況に応じた睡眠について、データを読み取り考えることができる。

5. 展開

段階	具体的な内容・活動	指導上の留意・配慮事項	評価内容・評価方法
導入 5分	・挨拶とICT機器の準備 ・ICT介護授業の振り返り ・本時の流れ	・タブレットを各自準備し、ログインしておく。 ・ICT　介護授業時の写真を見ながら、何を行ったか思い出す。 睡眠時のデータから読み取れた内容や、ICT　機器を用いることのメリットを再確認する。 ・データの読み取りや分析の方法重要性について共有する	
展開 25分	・睡眠に関する知識を確認(5分) ・利用者データからの情報書き出し（15分) ・利用者の状態に応じた対処法の検討(10分)	・睡眠を促すメラトニンや睡眠障害の種類、安眠に必要な条件など、前時の学習を意識しながら、プリントにまとめる。解答はパワーポイントで表示する。 ・「眠り　SCAN」のデータを配布し、対象者の状態をジャムボードに記入する。(4グループ、2事例) ・記入したデータを基に検討し、利用者を簡単に説明しグループごとに発表する。	・問題に全て正答することができる。(知識技術) ・情報を整理し、ジャムボードに記入することができる(主体性) ・データを基に、利用者を分析することができる(思考・判断)
まとめ 10分	・発表する(5分) ・ 本日のまとめ(5分) ・次回予告 ・挨拶	・各グループの発表を聞き、メモを取る。 ・最後のジャムボードページに、本日の内容を入力する。 ・全員で最後のページを確認する。 ・次回の説明をし、プリントはファイルに綴じる。	・全体のまとめを自分の考えを基に記入することができる。(主体性)